

せいろうまち せ 聖籠町

議会だより



国体に上位入賞が期待されるフェンシング

VOL.
82
平成20年4月18日発行

平成20年度予算を徹底検証
一般会計73億円、総額で109億円

2~4ページ

その後どうなった

請願・陳情のゆくえ

17ページ

徹底検証

快適な生活空間の創造 (都市計画、道路、生ごみなど)

主な事業概要

○道路維持管理、改良事業	4億3610万円
○住宅管理事業	2237万円
○ごみ減量化・適正処理事業	2億2693万円
○循環バス事業	2899万円



質 疑

- 問** 住宅耐震診断の170万円の内容は。
- 答** 昭和56年以前の住宅が対象となる。個人負担1万円で診断してもらえます。20戸分を計上した。
- 問** 入札談合疑惑業者、本町の指名停止の考えはあるか。
- 答** 町の指名停止については、まだ協議をしていない。

予算審査特別委員会

平成20年度一般会計予算、特別会計予算の8会計を、3月11日から14日までの4日間、各会計毎に慎重に審査を行いました。

新発田市の入札談合疑惑が発生し、聖籠町の入札についても議論が交わされました。

よりよい行財政運営を行い、町民サービスの向上がはかれるよう要望します。

8会計総額

109億9183万円
(前年度対比11.5%減)

- 一般会計 73億円(3.7%増)
- 国民健康保険特別会計
 - 事業勘定 12億3753万円(4.2%増)
 - 施設勘定 1億2366万円(22.1%減)
- 老人保健特別会計 8775万円(90.5%減)
- 介護保険特別会計 8億1545万円(6.2%増)
- 後期高齢者医療特別会計 7925万円(100%)
- 新潟県営開拓パイロット事業
 - 聖籠町特別会計 866万円(6.0%増)
- 公共下水道事業特別会計 8億6402万円(53.7%減)
- 水道事業
 - 収益会計 2億4783万円(0.5%減)
 - 資本会計 2億2770万円(3.2%増)

平成20年度 予算

活力・魅力あふれる産業づくり (農業、漁業、商業、観光など)

主な事業概要

○水田農業確立対策事業	6150万円
○農産物価格安定事業	500万円
○漁具倉庫建設事業	2400万円
○中小企業活性化支援事業	700万円
○町観光協会運営事業	1970万円



安全で安心できる暮らしの実現 (防犯・防災、子育て支援、児童・高齢者福祉など)

主な事業概要

○広域消防負担金・消防事業	2億6132万円
○防災事業	1130万円
○交通安全・防犯対策事業	2316万円
○障がい福祉事業	1億7002万円
○母子保健衛生事業	3663万円

質 疑

問 原油高止まりとなったら、商工業者はたいへんである。減免の考えは。

答 高騰となったら、悪影響はある。減免については重く受け止める。

問 ふれあい農園の返済が2年で終る。今後は。

答 非農家の方や町内外の人からも利用してもらい、土にふれてもらいたい。

質 疑

問 妊婦健診について、厚労省は16回必要とっているが増やせないか。

答 本町では、妊婦検診を2回から5回に今回増やした。他に、妊婦医療助成を行っている。1回530円の負担で、4回を超える場合は無料となる。

問 循環バスに乗るお年寄りから、運転手に対して苦情がでている。

答 苦情があることは認識しているので、運転手に指導する。



平成20年度 予算徹底検証



開かれた行財政の推進
(広報、広域行政、一般旅券発給など)

主な事業概要

- 広報公聴活動の充実事業 689万円
- 広域行政の推進事業 1207万円
- 一般旅券発給事業 17万円

個性豊かな人・ふるさとづくり (幼・小・中学校、社会教育、育英資金など)

主な事業概要

- 情報機器ネットワーク借上事業 4840万円
- 学校管理事業 2億4959万円
- 育英資金貸与事業 3700万円
- 国際交流事業 703万円
- 国体推進事業 7878万円



質 疑

- 問** 新発田市を中心とした今までの広域行政の今後はどうなる。
- 答** 消防などについては人口30万人構想でいいのか、議論が始まったばかりである。
- 問** 裏金問題がマスコミ報道されているが、当町においてはどうか。
- 答** 過去にさかのぼっても裏金問題はない。

質 疑

- 問** 「芸術・スポーツ文化のまち」のモニユメント、500万円はもったいない。他の形でできないか。
- 答** 文化、芸術、スポーツのイメージを基に形をなしてやっていきたい。
- 問** 学力向上の事業「放課後学習クラブ」は、どういう子に教えるのか。
- 答** 一人ひとりの学びを助ける。自分の課題を持っていき、自学自習を身につけさせる。

議員報酬 月額 12,000円引き上げ

3月定例会

平成20年第一回定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開かれました。町長から新年度の施政方針表明があり、平成19年度補正予算、平成20年度予算、聖籠町後期高齢者医療に関する条例制定、聖籠町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正ほか各種の条例制定、一部改正など33議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、全国最低クラスの「新潟県最低賃金」額の引き上げ、抜本改正を求める意見書など4件を可決しました。

一般質問では、6人の議員が、水田農業、住宅の耐震診断、教育などについて、2日間にわたり、町政全般を質しました。

聖籠町議会議員の報酬等について、町長から諮問され、聖籠町特別職報酬等審議会が開かれました。

審議会で検討の結果、全会一致で、1万2000円程度引き上げることが適当であるという答申がされました。

この答申を受け、平成20年4月1日から、月額1万2000円を引き上げる条例が上程されました。

この議案については、起立採決の結果、賛成多数（反対1人）で可決しました。

主な質疑

なぜ見送りしなかったのか

中村恵美子議員 答申の中に、平成15年4人、19年4人、計8人。議員定数削減という理由はあるが、今の社会情勢を見て今回は、報酬引き上げを見送るべきである。

総合的に検討した結果

総務課長 12月6日、白紙諮問の形で、審議会が開催された。審議過程の中では、近隣自治体の動向、新潟県町村議会から

の要望（首長と議員の報酬割合について）の調査など加味して検討した。会議は2回行われた。12月9日の日曜議会も審議会委員は傍聴して、議会状況を見たいうえで、総合的に検討した結果である。

役職	月額
議長	291,000円→303,000円
副議長	234,000円→246,000円
常任委員長・議会運営委員長	212,000円→224,000円
議員	210,000円→222,000円

反対討論

中村恵美子議員

今の社会情勢において、給料は目減りして、自営業などは、単価の切り下げ等により、働いても働いても苦しい状況である。近隣自治体の議員報酬の状況は、財政困難な自治体では、議員も職員と同様に報酬削減がされる。報酬引き上げには、町民の反対も多くある。以上の理由で、この条例の一部改正に反対である。

賛成討論

田宮 実議員

聖籠町議会において、平成15年、19年の改選時に4人ずつ計8人、議員定数を削減してきた。法定定数は22人であるが、現在14人。地方分権の下で、町民の多種多様な要望を行政に反映させるために、少数精鋭で議員活動を、これまで以上にしなければならぬ。議員を専門職と考え、報酬引き上げに賛成する。

4月から始まる後期高齢者医療

(対象者75歳以上)

平成20年4月から、75歳以上を対象とした、後期高齢者医療制度が始まります。

運営主体は、新潟県の全市町村で組織されている新潟県後期高齢者医療広域連合です。

各種申請の受付や保険料の徴収などの町で行う窓口業務の条例を制定しました。

この議案については、起立採決により、賛成多数(反対1人)で可決しました。



▲毎日、体を動かしましょう

主な質疑

保険料の特例はないのか

加藤正之議員 制度が始まって、半年間は徴収は猶予され、その後も半年間、9割免除ということを聞いていますが、どうなっているのか。

初年度の徴収は 国の政策で

町長 後期高齢者医療の事務は、基本的に広域連

社会保険から移行する該当者は、保険料の4月から半年は免除で、その後10月から半年は9割免除となる。

合で行う。

今回の条例は、町においての通常の事務手続きを定めたものである。

反対討論

中村恵美子議員

後期高齢者医療制度と現行との大きな違いは、保険料が年金から天引きされることであり、普通徴収者においては、1年以上滞納すると保険証が取り上げられ、資格証明

書が発行される。

国は高齢者医療について責任を持つべきである。減免にかかる申請提出の受付がなく、免除手続きがない条例に反対する。

賛成討論

五十嵐利栄議員

この条例については、12月議会において、反対の陳情が出され、多数決で陳情は否決された。条例反対の基本的な理由は、保険料の年金天引と保険証の安易な取り上げである。

しかし、この制度は、国の政策で行われるものである。新潟県連合会の考え方を基本に、県内各自治体で対応がされる。制度を運用していく中で、連合会に提言できるので賛成である。



▲検診の受付風景

保健推進員の報酬 年額支払から月額支払へ

町の特別職の職員で非常勤である保健推進員の報酬を、年額から月額に改められます。

保健推進員ごとに活動状況が異なり、年額報酬では、整合がとれないため、活動ごとに月額を支払うこととなります。

主な質疑

活動の成果はなにか

手島八郎議員 保健推進員の活動内容はなにか。

成果は計りようがない

推進員の人数は、活動していることよつての成果はどのようなものか。

保健福祉課長 平成18年度までの活動内容は、各集落の住民検診書の配布と回収であったが、19年度から行政区長を通して

いる。保健師とともに研修会を行っている。保健推進員の成果は計りようがない。

無活動でも報酬支払いしたのか

〔宮沢光子議員〕 保健推進

員ごとに活動状況が異なっただけというものは、活動をしていない推進員に対して、今まで報酬の支払いがされていたのか。

保健推進員の活動の一部に住民検診時の受付業務があると思っていたが、受付業務は、推進員の本来的な活動の一部なのか。

活動はしていた

〔保健福祉課長〕 住民検診

書の配布、回収業務をしてもらっていたが、推進員を引き受けてくれる人が少なくなりました。

平成19年度から、行政区長を通してことで、活動内容が実態と合わなくなった。

検診時の受付業務については、本来の活動ではないので、受付業務をしてきた推進員に対しては、年額報酬と臨時賃金を支払っていた。

図書館建設を調査

調査

平成17年3月、町立図書館環境整備調査委員会から、町民の知る権利及び知的欲求にこたえる図書館のあり方について、答申がされています。

答申を受けて、町立図書館の施設整備について調査するため、聖籠町立図書館建設調査委員会条例を制定します。

聖籠町の食育を考える

心身の健康を増進することを目的に食育基本法が制定されました。

市町村においても、食育推進計画を作成して食育を推進することが求められていることから、聖籠町食育推進計画策定委員会条例を制定します。

一般会計補正予算

農林水産振興事業費補助金	1037万円
観音の湯ざぶくろん館維持基金積立金	1800万円
財政調整基金積立金	1億5000万円

主な質疑

年度末に補助金がついた理由は

〔加藤正之議員〕 農林水産振興事業費補助金1037万円は、新しくつける補助金のようなが、12月

〔産業観光課長〕 補助金の内訳は、機械購入の助成

ではなく、なぜ年度末に計上されたのか。二つの団体に補助金をつけると聞いたが本当か。現状の稲作を考え、コスト削減の観点から、町として対応をした。直播研究会、次第浜集団管農の2団体に対して助成する。



▲田植え前の畦づくり

みなさんの 請願・陳情

第一回定例会では地域住民より直接の声となります請願2件陳情が5件審査され、請願2件・陳情2件が採択され、陳情3件が継続審査になりました。

採択となった請願

◎生活保護基準以下の最低賃金の抜本改正を求める請願 (提出者 08 国民春闘新潟県共闘会議 新潟県労働組合総連合会 議長 山崎 栄三)

◎住民の安全と暮らしに直結した国の地方出先機関を統廃合することの見直しを求める請願書 (提出者 新潟県公務員連労働者共闘連合会 代表 井上 一栄 他2人)

採択となった陳情

◎深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める陳情書 (提出者 新潟県医療労働組合連合会 執行委員長 塩谷 義夫)

◎看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正を求める陳情書 (提出者 新潟県医療労働組合連合会 執行委員長 塩谷 義夫)

継続審査となった陳情

◎健全に運営されてる自主共済を保険業法の適用除外にすることを求める陳情書 (提出者 共済の今日と未来を考える新潟県懇話会 新潟県保険医師会 会長 箕輪 孝 他5人)

理由・保険業法について調査の必要があることから、継続審査とする。

◎「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情 (提出者 日本熊森教会 会長 森山 まり子)

理由・当町は優良果樹産地であり、害鳥防除は欠かすことができない。

一方、自然林復元は地球温暖化防止策としても有効であるので、さらに検討を要するため継続審査とする。

◎藤寄山地区防災農道整備に関する陳情書 (提出者 藤寄副区長 遠藤 博)

理由①過去に例がない範囲の広さ(長さ)で、目的が防災以外にも含まれていること。

理由②本陳情と同じ内容の陳情が各集落から出された時、どう対応するかについて、判断が現時点では難しいこと。

意見書4件を 可決し国に提出

第1回定例会で4件の意見書が提出され、すべて全会一致で可決されました。可決された意見書は、国県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎住民の安全と暮らしに直結した国の地方出先機関を統廃合することの見直しを求める意見書

◎全国最低クラスの「新潟県最低賃金」額の引き上げ・抜本改正を求める意見書

◎深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める意見書

◎「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める意見書

読者の声



渡邊 智美さん
(亀塚)

思ひごと

議会だよりは、たまにしか読みません。しかし、議会傍聴は小学校の時にいったことがあります。議員の方が、いろいろな質問をして町長とやりとりをしていた姿が印象的でした。内容としてはよくわからなかったけど、町のために頑張ってくれているのだと、覚えていきます。

先回の日曜議会は、いつもより傍聴の人が多かったようです。その日の天候にもよる、人数が

働けると思ったら、臨時やアルバイトなどの非正規雇用です。

東港区域の企業に、正規雇用の人を増やすように訴えてもらえれば若い人も含め、暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

聖籠町は、福祉や教育に力を入れていて、とても暮らしやすいです。

最近の世の中は、物価の高騰などにより暮らしにくくなっています。

こんな時こそ、議員の皆さんに頑張ってもらい、暮らしやすい町にしてほしいと思っています。

●「トキめき新潟国体」リハーサル大会開催

●保健福祉施策の取り組み

●学力向上対策事業

施政方針表明



渡邊町長

▼町では「だれでもが住みやすい、健康的な生活を送れる町づくり」を基本理念として、この方向性を示す健康増進計画を本年度中に策定します。

妊婦、子育て支援について、妊婦一般健康診査無料券を2回から5回に、医療費助成の対象範囲を中学生まで拡大し、一層の子育て環境の充実に努めます。

▼今年度から新規に「放課後学習クラブ」を実施。目的は、家庭と連携して子どもたちに個別に学習習慣の定着をはかり基礎学力の向上に役立てます。

幼稚園教育についても小学校教育につなげる保育内容と指導法の検討をします。

▼「芸術・スポーツ文化のまち」今年度はこの精神を象徴するモニュメントを製作し、町民と共に生涯にわたって芸術やスポーツ活動を通じて心身ともに健やかで心豊かな町づくりの実現を目指します。

▼20年度においても住民自治を基本姿勢として、引き続き「教育と福祉」の充実をはかり、農業、商工業の振興、自然環境の保全と生活環境施策を重点に、効果的に展開をはかります。

技、12月にはフェンシング競技を実施します。このリハーサル大会に備えて必要な施設の整備も進めたいと考えます。国体は、地域にスポーツを広めることが主な目的ですが、これを契機にスポーツ振興と共に地域の振興がはかれることを期待し、多くの町民に関わって頂きながら成功に向け努力します。

▼本年度は、平成21年度に開催される新潟国体に向けた競技別リハーサル大会を9月にセーリング競技、10月にサッカー競

6議員が質問

— 加藤正之 議員 (11 ページ) —

1. 一時金に独自加算を
2. 聖籠産の日本酒開発を
3. 国体の総経費は

— 中村恵美子 議員 (12 ページ) —

1. 続けるか温暖化対策事業
2. 耐震診断どこが行う
3. 受動喫煙の防止対策は
4. 道路特定財源問題の考えは

— 宮沢光子 議員 (13 ページ) —

1. 真意は何か学力向上施策
2. どうなる小学校との連携

— 五十嵐利栄 議員 (14 ページ) —

1. 販売戦略どうするか
2. 中国産食材直ちに全面中止を

— 小川益一郎 議員 (15 ページ) —

1. 予算説明に財政が無い
2. 臨時職員に2億1200万円

— 堀常正 議員 (16 ページ) —

1. 地場物産のPR強化を
2. 後継者育成を
3. 街路樹整備を
4. トレーニング実施を

ズバリ
直言

一般質問
町政を問う



加藤 正之議員

一時金に独自加算を

町長 今の時点では無理

問 新潟市は一時金に独自の助成を決めている。これまで生産調整に協力しないうえに未達成者に、町の税金を使うことには抵抗があるが、この機会を逃したら未達成者から今後理解を得ることは一層難しくなる。

町も緊急対策一時金に独自の助成加算をする考えはないか。

町長 新潟市は単独の助成を行っているようだが、町では産地づくり交付金の単独助成を継続していることが一時金の助成加算に値する。

町水田農業確立推進協会の議論の中では、あえて話が出なかったのが、今の時点では無理だ。



▲種もみの消毒

聖籠産の日本酒開発を

町長 前向きに検討

問 町で生産された酒米を使って、聖籠町オリジナルの日本酒を特産品として開発できないか。

新たな品揃え枠の拡大と共に、生産調整の緩和につながってくる。

町長 酒米を原料とする

日本酒の開発については、その可能性があるのであれば北越後農協・生産者・造り酒屋等の実態も調査しながら前向きに取り組みたいと思う。

国体の総経費は

町長 推定総額4億8000万円

問 競技開催の経費と、町の負担金はいくらか。関連してどのような工事を行い、その経費負担はどうなっているか。また、町にはどのような経済効果が期待できるか。

町長 リハーサルではサッカー・フェンシング・セーリングの競技で6960万円かかり、そのうち町の負担は1730万円。本大会ではこれまでの実態を見ると3競技で1億6000万円ほどかかるが、県と協議し町の負担は2〜3000万円におさまりたい。

関連工事として、県の補助2/3を受け艇庫の整備を2000万円かけて行う。また、網代浜船だまり背後地に聖籠海洋レクリエーション交流拠点施設整備事業として、造成・駐車場・進入町道工事を総額2億2900万円かけて行い、国の港振興交付金8000万円の補助を予定している。

経済効果は、実質的にはリハーサル大会の実績を見て算出したいが、専門機関で分析可能ならば早期に公表したい。

続けるか温暖化対策事業



中村 恵美子議員

町長 継続していく

問 聖籠エコ・オフィスチャレンジプラン実行(環境率先、地球温暖化対策)計画は、地球温暖化対策実行計画及び環境保全のための率先実行計画の観点から策定した。計画が平成15年から平成19年までの5カ年として、3月末で終るが、目標に対してどうだったのか。今後も継続していくのか。

町長 聖籠エコ・オフィスチャレンジプランの目標に対しての削減は、平成19年分は結果がまだできていない。平成18年分では、温室効果ガス排出量は基準年度の平成12年度と比較して5・4%の削減となった。今後は、事務事業のさ



▲耐震補強が待たれる山倉小学校

らなる削減手法の検討、施設設備の更新に伴う省エネ機器の導入など、整合をはかり取り組む。

町長 道路特定財源問題の考えは

問 道路特定財源問題の考えはどうか。

町長 改正案の審議を進めてもらい、年度内の可決成立を期待する。

耐震診断どこが行う

町長 県の建築士会に

問 平成17年9月議会で、住宅の無料耐震診断及び耐震補強工事の助成について一般質問を行った。今議会では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で、個人負担1万円以内で住宅の耐震診断が受けられる予算が計上されている。どう進めていくのか。

また、耐震補強工事につながる制度化をはかるようだが、具体的にどうするか。

町長 耐震診断を希望する世帯に対し、社団法人新潟県建築士北蒲原支部新発田分会に所属する耐震診断士に協力を得て調査する。

耐震補強工事助成は、前向きに検討し、判断する。

◎一口メモ
※受動喫煙
他人が吸った「たばこ」の煙を吸わされること。
たばこを吸わない人が、自分の意志に関係なく、たばこの害を受けることになるため、不本意喫煙などともいう。

受動喫煙の防止対策は

町長 24年度中に禁煙、分煙

問 受動喫煙防止対策は、学校、役員関係庁舎でも屋内の禁煙をするべきでないか。

町長 受動喫煙の防止対策は、現在診療所、各こども園、山倉小学校は敷地内禁煙。公共施設は現在24年度中に禁煙、分煙対策の予定である。

真意は何か学力向上施策

教育長 勉強する習慣をつけさせたい

問 教育委員会は、短期学力向上対策事業として、「放課後学習クラブ」を開設する。過去を振り返ると、確かに、聖籠町は、勉強の大事さを、子どもたちに感じさせるムードというものは、全体的に希薄な感があった。

しかし、親子で、「放課後学習クラブ」を、単純にテストの点数を上げるためだと短絡的に思った場合、子どもは、人として危険な方向に行くようである。そして、

学習障害のある子どもが、疎外されないか危ぐする。PTAとの意見交換、学校現場の教職員の理解、意見収集など、どのようなものだったか。

今後、「本当の学力とは何か」ということを町全体で考えなければならぬ。

教育長 「放課後学習クラブ」の開設経緯は、家庭・地域教育審議会で、幼、小、中学校の子どもたちの生活実態調査を分析した結果を踏まえたものである。

塾の代わりではなく、学習習慣をつけて、勉強することが大事だという風土を作りたい。

PTA代表の反対意見はなかった。学校現場との意見交換は、時間をかけて以前から行っていた。今後、新しい保護者、教師陣には、再度、細かく説明したい。



宮沢 光子議員



▲夢と希望をもって大きくなあれ（亀代こども園）

どうなる小学校との連携

教育長 専門に考える委員会で研究

今後、こども園、小学校の教職員から委員を出し研究する。20年度からの県の指導主事は、幼稚園教育の経験者を考えている。

従来の幼稚園の取り組みについては、誤解を招いている「自由保育」について、保護者等に、きちんと説明できる体制づくりをしている。

問 平成20年度の幼稚園教育について、小学校につながる保育内容と指導法を検討するところがあるが、具体的なカリキュラムを考えているのか。

従来からの町の幼児教育について、教育委員会の評価はどのようなものか。小学校に向け、読み書き指導というよりは、こども園において、まずは、リトミックなどで、情操教育を基本にすることを提言したい。

教育長 幼、小の連携は、まだ白紙である。

◎一口メモ

※リトミック

音楽と身体運動をとり入れた教育法。

心身の発達を促し、感受性豊かな心を育てる。

販売戦略どうするか



五十嵐 利栄議員

町長 再検討も必要

問 次第浜浜山土地区画整理事業について、昨年3月議会で契約5件、予約28件計33件と答弁があった。町広報3月号で契約18件、予約9件計27件に減っている。

今日の答弁で契約18件、予約4件計22件とさらに減っている。

この1年間1000万円近い広告宣伝費を投入し、実質契約がマイナスになっている。販売戦略の見直しが必要でないか。

浜山地区ふれあいセンター建設費として設計委託料510万円計上されている。建物の建設は21年度に予定しているが、設計委託料から推定すると、1億円以上のふれあいセンター建設が予測さ

れる。20数軒の入居者見込の現段階で、このような巨額な予算投入が必要か。

町民に対する公平性からみて疑問である。

町長 土地の形状、周辺の住宅分譲の環境が整ったのが昨年の秋である。今後促進をはかるには、この春先からの戦略が大きく影響してくる。

建設業者も電化住宅のPRをしている。

ふれあいセンターの建物はまだ実施計画を組んでいない。おおむね100坪程の建物と考えている。

中国産食材直ちに全面中止を

教育長 給食関係全面中止する

問 中国産冷凍餃子から有機りん化合物「メタミドホス」が検出され、各地で中毒症状が発生した。その後も、肉まん、鯖、カツなどの中国産食品から「ホレイト」や「パラチオン」など「メタミドホス」を含めて毒性が強く、日本では農薬登録が



▲安心安全な学校給食 (蓮野小学校)

認可されたことのない化合物や、30数年前に製造中止された化合物も検出された。

学校給食などで当該製品を使用した実績はあるか。また、当該品以外の中国産を学校給食で使用した実績はあるか。

学校給食などから中国産食材は全面中止し、地元食材を中心とした地産

地産に切り替えていく考えはないか。

教育長 今回問題になったメーカーの食材を学校給食などで使用した実績はない。

中国産は11月以降毎月数件使用していた。2月以降中国産は使用しないことを関係者に伝えた。

地産地消は使用拡大していきたい。

予算説明に財政が無い

町長 既に公表済み

問 平成20年度の予算編成に伴う施政方針に町の基本である財政について触れていないのはなぜか。

①税主導型の予算は、いつまで続くのか。年度毎の額はいくらか。
②経常収支比率、公債費比率、財政力指数の推移。
③各種基金の積立額の現状とあるべき額は。
④当初予算で計上できなかった事業はあったか、あったとしたら何か。

町長 財政については、毎年度予算編成を通じて当該年度の財政運営について公表することで姿勢を示している。

⑤公共下水道の受益者負担金の未納者が増加しているが、金額と人数は、また、全事業への影響は。
町長 財政については、毎年度予算編成を通じて当該年度の財政運営について公表することで姿勢を示している。

はあえて記述しなかった。

①税主導型の財政は少なくとも今後10年は続く。
②経常収支比率は25年まで72%、76%で推移し実質公債費比率は20年度14・8%以降低下し25年度には5・5%と推計している。
財政力指数は20年度から25年度まで1・43、1・45と推計している。
③基金は19年度末残高見込みで財政調整基金8億3600万円、減債基金8300万円、土地開発基金6300万円、その他特定目的基金9基金合計4億3100万円である。
④当初予算に計上できなかった事業は皆無である。
⑤公共下水道の受益者負担金の未納額は、11年度から18年度まで118人で731万3900円、現年度分37人の311万500円である。

受益者負担制度の目的と負担の公平を保つ上で大きな影響がある。



小川 益一郎議員

臨時職員に2億1200万円

町長 行政サービスを提供

問 一般職員を漸減させながら臨時職員を多用しなければ行政運営はやっていけないのか。必要なら常雇用し一般職員とすべきでないか。臨時職員の人数が多過ぎる。

町長 政策課題によって対応している。簡素で効率的な行政運営のためには必要不可欠である。

総務課、学校教育課などに129人の臨時職員を配置したい。



▲多すぎる臨時職員

地場物産の P R 強化を



堀 常正議員

町長 販売戦略は大きな課題

問 国策により稲作農家は非常に苦しんでいる。国の支援が望めない農家との新たな品目開発、市場調査、なかでも地場産の果物、畑作物の宣伝支援を大々的に行政の指導でできないか。

町長 生産者と連携い体制を強化し、安全、良質な農産物の情報及び P R などの販売戦略は大変重要だと認識しているが、生産量が少ないから適度の P R でとどめている。今後、販売戦略をどう確立していくかが大きな課題であり、支援策も講じていきたい。

問 新潟国体に伴う網代浜船だまり整備、聖籠海岸レクリエーション交流拠点施設整備事業、さらに海上での天然ガス採掘などで漁業関係者には大きな変化が今起きようとしている。

町長 漁業振興と後継者については経営実態から考えると非常に難しい課題である。漁業協同組合の大きな課題であるが、懇談をして、それらの問題を考えていく必要性がある。

町長 後継者育成は自ら



▲整備が待たれる海岸道路

街路樹整備を

町長 今後考える

問 聖籠海岸砂防林と平行に走る町道は浜地区を結ぶ幹線道路であるが、地域住民の環境に優しい生活道路として機能を高めるためや、新潟国体での町のみどり促進 P R を兼ね街路樹整備ができないか。

町長 網代浜船だまりの環境整備、これを一つの起爆剤として、今後、次第浜土地区画整理事業の住宅環境、緑化環境整備として、周辺施設整備の中で考える。

トレーニング 実施を

◎一口メモ
※コーディネーション トレーニング
コーディネーション能力とは、状況を目や耳など五感で察知し、頭で判断し、筋肉を動かすといった一連の過程をスムーズに行う能力をいう。この能力を高めようとするのが「コーディネーション トレーニング」である。

教育長 今後の課題

問 運動神経を養う遊びを取り入れたコーディネーション トレーニングが町では実施されていない。こども園や小学校での実施と先生の受講を考えられないか。

教育長 このトレーニング

は幼児教育、また小学校低学年には、いいトレーニングであり、今後の社会教育全般の中から検討する課題であり、今後の宿題である。

第12回 追跡 レポート

その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成18年中に議会で審議され、採択された請願は6件、陳情は9件ありました。
その中でも、特に町民から提出され、私たちの生活に深くかかわるものについて、現状はどうなったのか調査しましたので、皆さんにお知らせします。

請願(陳情)書の書き方

町民の皆さんの意見、要望などを町政に反映させる方法のひとつとして請願・陳情の制度があります。

請願書・陳情書は、請願(陳情)する方の住所、氏名を書き、押印して、紹介議員(陳情の場合は不要)1人以上の署名または記名押印を受け、請願(陳情)の要旨、理由を記載したものを議長あてに提出して下さい。

(表紙)

〇〇に関する請願(陳情)書
紹介議員 〇〇〇〇 印

{※陳情の場合は}
紹介議員不要}

(内容紙)

〇〇に関する請願(陳情)書
要旨………

理由………

(要旨、理由ともに簡単に要領よく記載してください)

平成 年 月 日

聖籠町議会議長 〇〇〇〇様

請願(陳情)者の住所

氏名 印

陳情1 道路拡幅改良してください

陳情名 道路拡幅改良についての陳情書
提出者 藤寄副区長 天尾壮一郎
議会採択年月日 平成18年6月26日

処理状況

法線測量と設計業務を行いました。
引き続き、用地測量と物件調査を行う予定です。



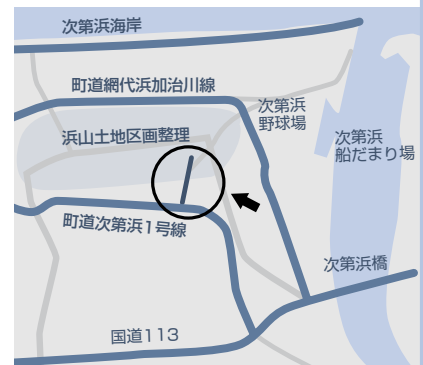
▲藤寄地内仁五郎橋付近

陳情2 道路拡幅新設してください

陳情名 道路の建設についての陳情書
提出者 次第浜区長 平野政要
議会採択年月日 平成18年9月25日

処理状況

法線測量と設計業務
を行いました。
引き続き、用地測量
と物件調査を行う
予定です。



継続調査報告

町の財政について調査

総務文教

1月23日、財政計画及び財政改革について調査を行った。

現在の長期財政計画は平成17年に作成されたものであり、現況との差異が大きくなっている。

中長期的な財政状況を把握し、今後の歳入及び歳出を予測することにより、計画的かつ健全な財政運営を行うための資料として、新たに今後10年間の長期財政計画の提出を求めた。

現在の税制度下での推計であるが、平成25年度までは不交付団体が続くとの説明を受けた。

財政改革については新行政改革大綱（集中改革プラン）の実施計画に沿って財政の健全化を進めている。各団体への補助金については、その必要性・費用対効果・費用負担のあり方等を



検証し積極的に整理合理化をはかりながら削減に努めるとしているが、なかなか減少していないのが実態であり、難しい問題でもある。

米政策などを調査

厚生産業

とかつてない厳しい内容となった中で町の対応策を調査した。

本年4月からスタートする後期高齢者医療制度について、保険料総額が所得によりどう変化するか調査した。また今後、運用の中で問題点の有無について調査していくことを確認した。

ガソリン暫定税率25円／ℓについて調査した結果、これが廃止された場合、当町で概ね8100万円影響あることを調査した。

「なごみの家」が11月22日から運営を開始し、11月～12月の利用者は195人、利用料は無料（弁当代実費）などを調査した。

1月24日、農業政策・後期高齢者医療制度・道路暫定税率・「なごみの家」の運営状況について調査した。

農業政策は、米政策について19年度と20年度の比較を中心に調査した。特に作付率が前年対比マイナス7・1%、作付率で63・4%



委員会閉会中の

議会広報全国研修会に参加

議会広報

1月29日、全国町村議会主催の第22回町村議会広報全国コンクールの入選作品が発表された。

聖籠町議会広報も入選した。今年も全国町村議会1800余の中から上位入選を勝ち得た。

今までも県下最優秀賞、全国優秀賞など輝かしい成績を収めてきた。

賞を得るために広報を作っている訳ではないが、広く町民に読んでもらうためには、優れた広報を作ることは当然である。

正しい議会の活動内容をいかに町民にお知らせできるか大変難しい。

そのためにインパクトのある見出しや写真が必要である。

感性ある文章も必要である。議員一人ひとりが取材し、文章を作り、レイアウト、校正、写真撮りを行っている。



議会広報は議員手作りの集大成を毎定例会ごとに発行している。2月20・21日、第67回町村議会広報全国研修会に当議会からも出席し研さんした。これからも、日々勉強し、今年もさらに上位を目指し立派な広報を作りたい。

「全国コンクールで入選」

議会広報

平成20年2月、議会広報委員会にうれしい知らせが届いた。

議会だより78号（平成19年4月20日発行）が、第22回町村議会広報全国コンクールで入選を受賞した。

聖籠町議会だよりは、昭和63年2月に創刊されているが、創刊されてから、約20年、その間に、県コンクール、全国コンクールにおいて、数々の賞を受賞している。

議会だよりを作りあげてきた歴代の広報委員に感謝したい。

聖籠町の議会だよりは、町民参加のページ（読者の声、聖籠町に嫁いで来たお嫁さんなど）が、審査員から高く評価されている。

賞をいただいたことを励みに、新メンバーの広報委員一同、より一層、研さんを積み、読みやすい議会だよりを町民に届けたいと思う。



を積み、読みやすい議会だよりを町民に届けたいと思う。

お知らせ

町政を知るよい機会

議会を傍聴してみませんか
今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことかも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、6月中旬の予定です。



お願い

あなたもみんなのページ

聖籠町に嫁いで来た

お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎ 0254-27-1967 (直通)

議会広報対策特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	宮沢 光子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	中村恵美子
	田村富美男
	小林 政榮

みんなのページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん



飯田 真弥さん
(別條)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

友達同士の飲み会で知り合い、7年間付き合い結婚しました。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？

初めは何もわからず、なんにもない町だと思ってたのですが、プラントという大型スーパーが近くにあるし、新発田にもすぐく近いので、とても住みやすい町だと思いました。それに家の周りはとても道路が広いので便利です。

それと、聖籠町のマンホールには、くだものイラストや東港のイラストが描かれていて、とてもカワイイと思いました。

あと、小学生の下校時刻に流れる放送にはびっくりしました。安心して子どもを通わせられるので、とても良いと思いました。

Q 町での生活はどうか？

今では、新しい家族が一人増え、毎日家族みんなでワーワー過ごしています。

子どもと一緒に別條のお祭りに参加したり、育成会のイベントに参加したりして、楽しませて頂いています。

Q 町に望むことはありますか？

いつまでも「聖籠っていい町なんだね」と言われるような、住みやすい環境づくりをしていって欲しいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新潟市出身で平成18年12月に別條に嫁いで来た飯田 真弥(旧姓 松田)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

今、国会が大きく揺れている。年度末ぎりぎりになって道路特定財源が確保できるのか、各自自治体まで迷走している。

3月末日で期限が切れる暫定税率の延長が焦点である。

25円のガソリン税が下がると聖籠町の道路財源は9500万円の収入減となるそうだが、町民一人ひとりが使用するガソリンは約3億円節減可能と推計できる。

町が増税で潤った方がよいのか、それとも町民一人ひとりの減税になった方がよいのか、町も議会もよく考えてもらいたい。町は今年も不交付団体となり豊かであるが町民は決して豊かではない。

行政に関わる議員は町民のために政治を向けさなければならぬ。一日も早い国会の正常化を願う。

議会広報対策特別委員会
委員 小川 益一郎

編集後記

聖籠町議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい大豆インキを使用しています。